



平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月14日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3501 URL http://suminoe.jp/
 代表者(役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画室部長 (氏名) 永田 鉄平 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日~平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	71,068	△2.3	365	△80.0	483	△76.3	△113	—
28年5月期第3四半期	72,719	9.0	1,822	△5.2	2,036	△18.2	1,019	△25.4

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 1,224百万円(—%) 28年5月期第3四半期 △203百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	△1.50	—
28年5月期第3四半期	13.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	89,438	37,697	37.5
28年5月期	86,878	37,178	38.3

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 33,574百万円 28年5月期 33,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	3.50	—	3.50	7.00
29年5月期	—	3.50	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日~平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,400	△2.2	1,000	△60.8	1,100	△61.8	150	△38.9	1.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年5月期3Q	76,821,626株	28年5月期	76,821,626株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年5月期3Q	1,381,506株	28年5月期	1,378,129株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年5月期3Q	75,442,167株	28年5月期3Q	75,445,164株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(企業結合関係)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、個人消費の低迷と円高進行から企業業績が伸び悩みましたが、2016年11月の米国大統領選挙後は、新政権の経済政策による景気上向きへの期待から、実態経済への波及は不透明ながらも、金融市場が世界的に活況となりました。

当社におきましては、米国子会社Suminoe Textile of America Corporation (以下STA) に端を発した会計処理問題により、前期末および第1四半期の決算発表が大幅に遅れ、株主や投資家のみなさまをはじめ、お客様や取引先等の関係各位におかれましては、多大なるご迷惑、ご心配をおかけしました。深くお詫び申し上げます。社会が必要とする価値ある会社となるべく、再発防止策を徹底してまいります。

売上は当第3四半期連結累計期間において為替が円高進行したため減収となり、利益面では、STAの会計処理問題の再発防止に向けた対策費用および生産性の改善費用、本社ビル耐震工事に伴う事務所の移転費用や物流センターの移設費用が発生したことに加え、持分法による投資利益や不動産賃貸料の減少等があったため、減益となりました。

当第3四半期における連結業績は、売上高710億68百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益3億65百万円（同80.0%減）、経常利益4億83百万円（同76.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億13百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益10億19百万円）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、堅実に物件を受注したものの大型案件が少なく、売上は前年同期を下回りました。水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS® (エコス)」は、海外輸出が堅調に推移しております。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットは、個人消費に足踏みがみられ、売上は前年同期を下回りました。カーテンでは、「U Life® (ユーライフ) Vol.8」や「Face」が好調を維持し、2016年7月には「mode S® (モードエス) Vol.8」を新たに発売したものの、売上は前年同期を下回りました。壁紙では、「ルノンフレッシュプレミアム」が堅調に推移したものの、量産タイプの「ルノン・マークII」が苦戦し、売上は前年同期を下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高259億5百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益2億90百万円（同26.6%減）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、国内では、カーペット事業での売上が順調に推移しましたが、ファブリック事業では受注車の新車効果が一巡してきたため、前年同期比では減収減益となりました。海外では、特にインドネシアやインドで売上が拡大しましたが、全体としては為替の影響を受けて前年同期を下回りました。営業利益は、STAは収支改善に向けた取り組みの中で、人件費の増加と生産性の改善に遅れがあったものの、中国やアジア圏での原価低減や経費削減活動が奏功し、前年同期を上回りました。

車両関連では、鉄道向けは、新規大型案件がなかったものの、新車の継続案件や公営・民鉄のリニューアル改造工事、クルーズトレイン等の受注が好調に推移し、売上を伸ばしました。バス向けは、新車製造が好調を維持しており、オプション仕様による高付加価値商材の需要拡大と消耗部材の受注拡大により、売上、営業利益ともに大きく伸ばしました。また、航空機向けシート地の受注も好調に推移しており、車両関連全体では、売上、営業利益ともに前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高414億93万円（前年同期比1.2%減）、営業利益22億3百万円（同7.9%増）となりました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは、前年同期を上回る受注となり、浴室向け床材も好調に推移したため、ともに増収増益となりました。消臭・フィルター関連は、空気清浄機、暖房機および冷蔵庫向けフィルターが振るわず、減収減益となりました。太陽光電池向けシリコンインゴットのスライス事業は、受注先の減産を受け、減収減益となりました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高35億50百万円（前年同期比15.3%減）、営業利益1億69百万円（同4.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、保有株式の時価評価による投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ25億59百万円増加し、894億38百万円となりました。

負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ20億40百万円増加し、517億40百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ5億18百万円増加し、376億97百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、平成28年10月28日に公表しました通期の業績予想を修正しております。

詳細については、本日（平成29年4月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,930	6,453
受取手形及び売掛金	22,768	23,494
有価証券	295	—
商品及び製品	9,753	10,686
仕掛品	1,706	1,498
原材料及び貯蔵品	3,983	4,146
その他	3,413	4,441
貸倒引当金	△42	△27
流動資産合計	49,809	50,693
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,277	17,285
その他(純額)	9,008	9,689
有形固定資産合計	26,286	26,974
無形固定資産		
無形固定資産	1,179	1,102
投資その他の資産		
投資有価証券	8,228	9,321
その他	1,521	1,494
貸倒引当金	△147	△147
投資その他の資産合計	9,602	10,668
固定資産合計	37,068	38,745
資産合計	86,878	89,438

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,209	18,829
短期借入金	13,128	13,614
未払法人税等	889	122
その他	3,732	3,529
流動負債合計	35,961	36,096
固定負債		
社債	—	500
長期借入金	3,830	4,805
役員退職慰労引当金	323	345
退職給付に係る負債	3,904	3,986
その他	5,680	6,006
固定負債合計	13,738	15,644
負債合計	49,700	51,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	10,768	10,127
自己株式	△360	△361
株主資本合計	22,614	21,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,450	3,286
繰延ヘッジ損益	5	△21
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	645	711
退職給付に係る調整累計額	△196	△170
その他の包括利益累計額合計	10,701	11,602
非支配株主持分	3,861	4,122
純資産合計	37,178	37,697
負債純資産合計	86,878	89,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	72,719	71,068
売上原価	58,641	56,915
売上総利益	14,077	14,152
販売費及び一般管理費	12,254	13,786
営業利益	1,822	365
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	147	145
持分法による投資利益	149	62
不動産賃貸料	177	55
その他	174	128
営業外収益合計	659	399
営業外費用		
支払利息	178	175
為替差損	149	20
不動産賃貸費用	29	22
その他	87	62
営業外費用合計	445	281
経常利益	2,036	483
特別利益		
固定資産売却益	4	54
投資有価証券売却益	—	159
特別利益合計	4	213
特別損失		
固定資産除売却損	110	226
厚生年金基金解散損失	—	21
特別損失合計	110	248
税金等調整前四半期純利益	1,931	449
法人税、住民税及び事業税	765	348
法人税等調整額	△140	△208
法人税等合計	625	140
四半期純利益	1,305	309
非支配株主に帰属する四半期純利益	286	422
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,019	△113

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	1,305	309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,228	836
繰延ヘッジ損益	△51	52
為替換算調整勘定	△271	80
退職給付に係る調整額	20	25
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△80
その他の包括利益合計	△1,509	914
四半期包括利益	△203	1,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△383	787
非支配株主に係る四半期包括利益	179	436

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

平成27年6月1日に行われたBondtex社との企業結合について、前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

のれんの金額に係る見直しおよび取得原価の当初配分額の重要な見直しの内容は以下のとおりであります。

修正項目	のれんの修正金額
のれん（修正前）	1,322百万円
建物及び構築物	△288
機械装置及び運搬具	△113
土地	△46
有形固定資産（その他）	△4
無形固定資産（その他）	△857
その他	11
修正金額合計	△1,299
のれん（修正後）	22百万円

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額1,322百万円は、会計処理の確定により1,299百万円減少し、22百万円となりました。

前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が6百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,409	42,001	4,191	72,603	115	72,719	—	72,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	408	5	12	426	193	620	△620	—
計	26,817	42,007	4,203	73,029	309	73,339	△620	72,719
セグメント利益	395	2,041	177	2,614	77	2,692	△869	1,822

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△869百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△889百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,905	41,493	3,550	70,950	117	71,068	—	71,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	430	15	3	450	189	639	△639	—
計	26,336	41,509	3,554	71,400	307	71,707	△639	71,068
セグメント利益	290	2,203	169	2,662	70	2,733	△2,368	365

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△2,368百万円には、セグメント間取引消去20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,389百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合関係)」に記載の取得原価の当初配分額の重要な見直しに伴い、当該見直し反映後のものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるSuminoe Textile of America Corporationが、Bondtex, Inc.の株式を取得したため、「自動車・車両内装事業」のセグメントにて暫定的に算定された金額でのれんを認識しておりましたが、前連結会計年度末に確定しております。

詳細につきましては「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合関係)」をご参照ください。